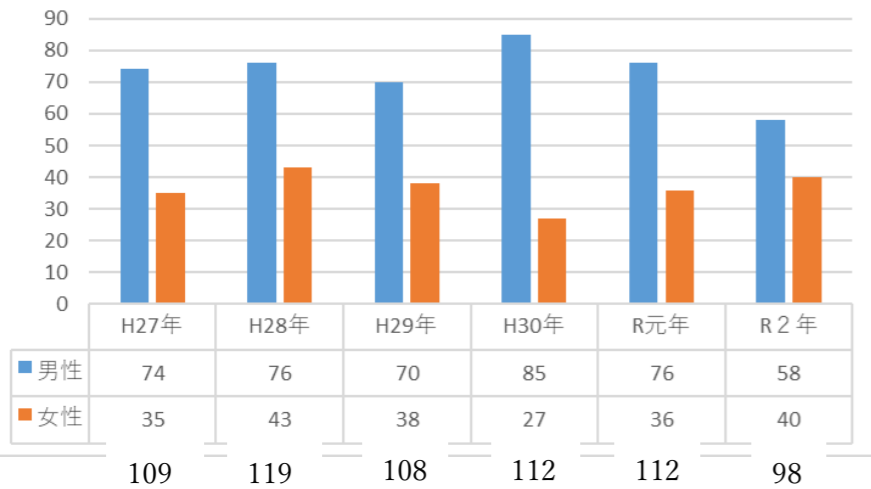


練馬区の自殺の状況

図1

練馬区の男女別自殺者数推移



- 令和2年の男女計の自殺者数は、過去5年に比べて減少していた。
- 男性の自殺者数は減ったが、女性の自殺者は増加した。

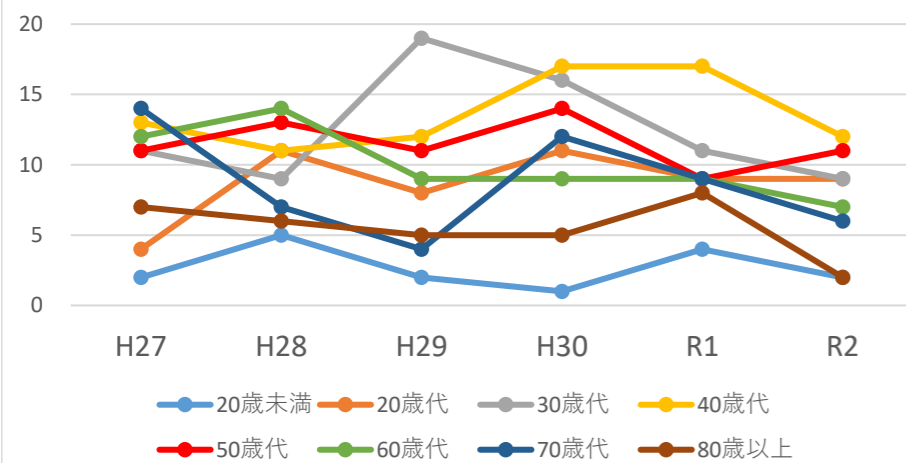
出典：「地域における自殺の基礎資料」

厚生労働省自殺対策推進室が、警察庁から提供を受けた自殺データに基づいて、全国・都道府県別・市町村別自殺者数について再集計したもの。

*自殺の原因・動機に係る集計については、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者数とは一致しない。

図2

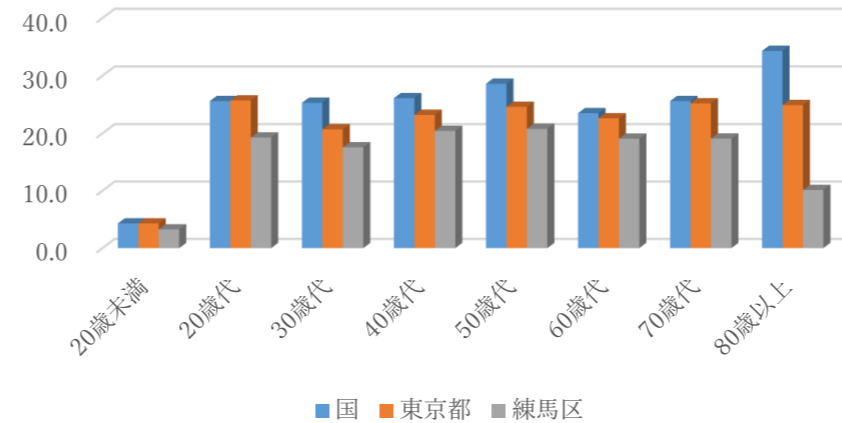
練馬区の年代別自殺者数の推移（男）



- 令和2年は50代のみ増加、20代は増減なし、その後は減少となった。
- 令和2年における自殺者数は40代、50代の順に多い。

図4

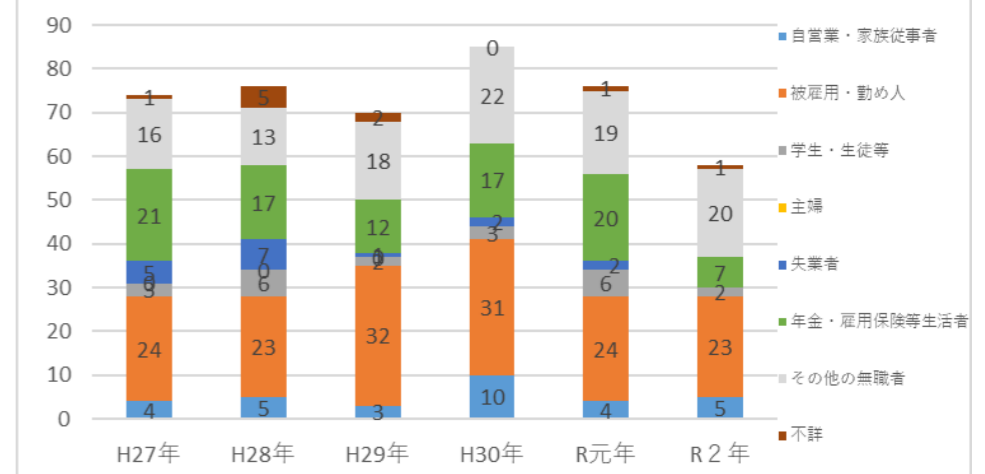
年代別死亡率(人口10万対)の比較（男）



- 練馬区の自殺率は男性が多いが、国や東京都の比較では少ない。

図6

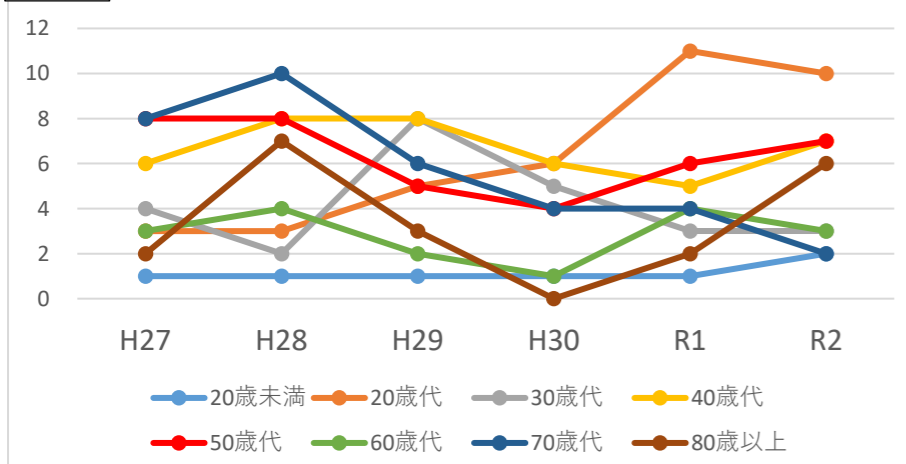
練馬区の職業別自殺者数の推移（男）



- 令和2年は元年と比較して年金・雇用保険等生活者が大きく減少。

図3

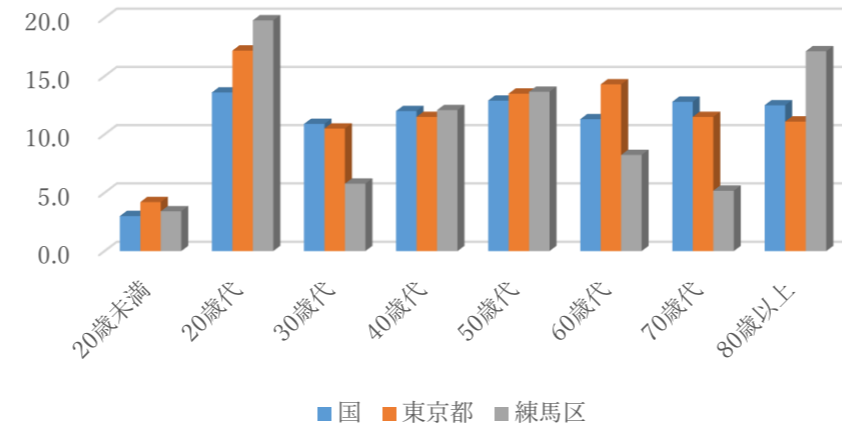
練馬区の年代別自殺者数の推移（女）



- 令和2年は20未満、40代、50代、80以上で増加となった。
- 令和2年における自殺者数は、20代が10人と最も多い。

図5

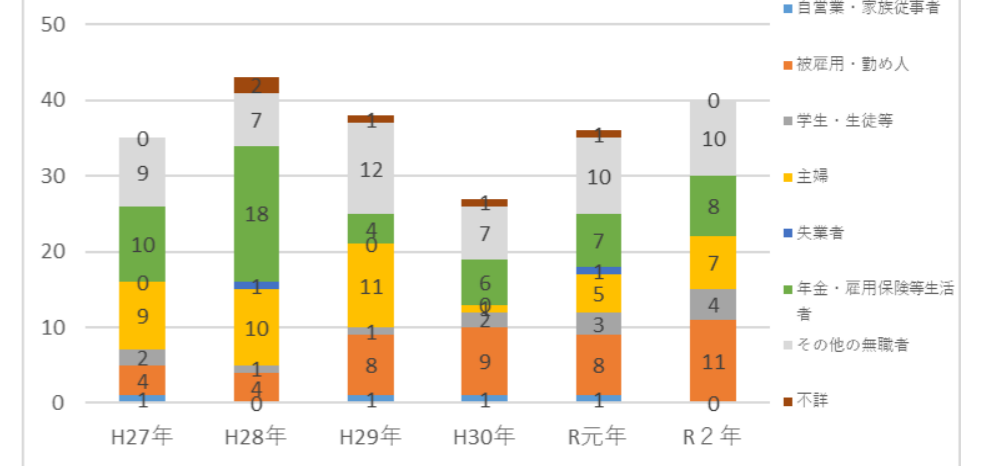
年代別死亡率(人口10万対)の比較（女）



- 令和2年は20代、40代、50代、80歳以上が国や東京都と比べて高い。

図7

練馬区の職業別自殺者数の推移（女）



- 令和2年は元年と比較して被雇用・勤め人、学生・生徒等、主婦、年金・雇用保険等生活者で増加。